

# とちぎ骨髄バンクを広める会

編集：尾内 繁夫 発行：高橋 譲

お問い合わせ先

事務局：〒327-0012 佐野市出流原町 736-6 新井 清

TEL 0283-25-0325

E-mail: [kysarai@peach.ocn.ne.jp](mailto:kysarai@peach.ocn.ne.jp)

募金・会費は、

郵便振替口座番号：00300-1-12677

加入者名義：とちぎ骨髄バンクを広める会

とちぎ骨髄バンクを広める会は、(財)日本社会福祉弘済会よりボランティア共済の補助を受けています。

ひとつの生命を救うために、  
あなたが出来ること。  
骨髄バンクにご登録ください。



<http://www.donorsnet.net>

## 目次

平成15年度 第1回 総会のご案内

事務局

お知らせ・連絡

骨髄移植推進財団 マンスリーレポート(2003/3/18)より 抜粋

## 平成15年度 第1回 総会のご案内

下記の日時にて、平成15年度第1回目の総会を開催いたします。  
今回は、代表・事務局等の人事を含む重要な議案もあります。  
出来るだけ都合をつけ、一人でも多くの方にご出席いただきたくお願い申し上げます。

### 記

日時：平成15年4月20日 \*\*:\*:

場所：小山市ボランティア支援センター

議案(予定)：

代表・事務局等の交替、新たな役割の決定等

新年会で提案された内容は以下の通りです。

代 表：高橋 譲

事務局：新井 清

会 計：事務局と地域が近い方 1名

会 報：喜吉・大美賀・尾内

以上

## お知らせ・連絡

ゼネラル・エレクトリック社会長が、ボランティア活動を通して社会貢献している世界中の自社社員から2名を選び(2年に一回)表彰しています。2年前、真岡の高橋譲さんがその一人に選ばれ、副賞賞金をそっくりとちぎ骨髄バンクを広める会に寄付してくださいました。その小切手が昨年10月に届き(この経緯は略)、銀行の要請で再発行してもらうことになり、高橋さんの会社を通じて交渉して頂きました。

3月中旬に既に換金は完了しております。

小切手額面は\$1,000 - で、当日のレートにより¥112,554円になりました。

6月7日(土)都賀町スポーツ公園で「県民の日」が開催されます。

ここで同時併行ドナー登録会を県主催で実施されることになり当会に対して説明員とボランティアの応援要請がありました。

まだ詳細が不明なので会としての対応は決定しておりませんが、参加できそうな方は予定に入れておいて下さい。

当日は2000名程度の人出があるそうです。

6月29日(日)栃木県総合文化センターメインホールを会場に、NPO法人命のつどい主催で「ふれ愛 こんさーと」が開催されます。  
元「殿様キングス」(兄弟の演歌グループ)の兄・多田そうべい氏が11年継続しているコンサートです。  
地域の演芸や趣味のグループ(歌、ダンス、舞踊、演奏、大道芸など多岐にわたる)に発表の場を提供することで観客を集め、出演者と来場者に骨髄バンクについて理解して頂くPR活動として開催されてきました。  
多田そうべい氏は次男を重症再生不良性貧血で亡くされています。ご自身の体験を交えて骨髄移植と骨髄バンクをわかりやすく説明するミニシンポジウムコーナーがプログラムの中に組み込まれます。

多田氏は、開催地地元の骨髄バンク支援団体に対して会場ロビーを開放(提供)し、会独自のPR活動や募金活動を行ってくださいます。  
昨年4月に初めて栃木県で行われて、ペンシルバルーン、資料配付、ミニシンポでのおしゃべりに参加しました。募金箱は多田氏が用意し、終了後、すべて地元の骨髄バンク支援団体に提供されます。

準備から撤収まで9時~17時の長丁場です。交代で対応するためにも8~12名のメンバーがいると安心です。  
ご協力のお申し出(kurimoto@tvoyama.ne.jp 栗本あて)をお待ちしています

#### 日本骨髄バンクの現状(2003年2月末)

	前月	当月	現在数	累計数
ドナー登録者数	2,085	2,076	167,263	208,858
患者登録者数	156	132	2,051	13,911
骨髄移植例数	64	61	-	4,700

### マンスリーレポート 2003/03/18

発行: 骨髄移植推進財団 事務局

2月のドナー登録数、推進月間より3カ月連続2000人超!

2月の月間ドナー登録者数は2076人で、取消者数は556人、実質増加数は1520人でした。  
登録会は93回(うち献血併行87回)が実施され、合計823人の方にご登録いただきました。

前年同月との比較では、回数では160.3%(献血併行170.6%、集団登録85.7%)、登録者数では113.8%(献血併行137.0%、集団登録56.0%)でした。

一方、固定窓口の登録者は1253人と前年比117.3%で、先月に引き続き1000人を上回る登録者がありました。

昨年2月は、「プロジェクトX」の放送の反響で1000名以上の登録があり、前年比はそれほど高くはなかったものの、窓口登録数は今年度最高でした。

全体としては推進月間の12月、10月、1月について今年度4番目の実績となりました。

都道府県の登録会開催数は、東京13回、北海道、福島8回、富山、石川、愛知6回、沖縄5回、茨城、埼玉、京都、福岡4回、千葉、大阪、長崎3回、栃木、和歌山、兵庫、広島、徳島2回、新潟、静岡、岐阜、岡山、山口、鳥取1回でした。

保健所や血液センターなどの固定窓口の登録数減少が問題視されている中、昨年、今月と順調に固定窓口の登録増加が見られました。

先月の患者さんの新聞報道が引き続き全国紙面にもとりあげられたこと、全国ネットのテレビ放送で患者さんの闘病の放送があり骨髄バンクフリーダイヤルを掲載していただいたことがその要因となったと思われます。

しかしながら、今年度のドナー登録は、全体的には昨年度の実績を残念ながら下回ることが予想されます。

今年度も後わずかですが、一丸となって頑張りましょう。

説明・採血分離方式いよいよ始動。申込書持参で全ての献血会場で登録可能に

本年4月より、骨髄ドナー登録の事前説明会で説明を受け「登録申込書」の記入内容を説明担当者(財団職員または地区普及広報委員、説明員)が確認した登録希望者は、全国の全ての献血会場(血液センターや献血ルームなどの固定窓口、移動献血バスを含む)で登録採血ができるようになります。

これまでの、集団登録会、献血併行登録会に加え、説明だけを行う分離方式の「事前説明会」が位置付けられることとなります。

採血の医師が確保できずに登録会開催を断念するケースが多くありましたが、どこでも説明会を開くことが可能となります。また、職域登録会などで時間的な拘束がある場合にも、有効に活用できる方法です。

事前説明会は、財団(職員、地区普及広報委員など)が実施計画書を事前に血液センターへ提出し、説明会では提供希望者へ骨髄提供に関する説明を行い、登録意思と申込書の記入内容を受付担当者が確認して「登録申込書」に押印し、登録希望者へ最寄りの血液センター一覽とともに配布します。

登録希望者は血液センターへ連絡し、献血場所を確認し、希望の献血会場で登録していただくこととなります。

説明会終了後、財団は実施報告書(実施会場、説明会参加人数等)を作成し、説明会場の最寄りの血液センターへ報告します。

なお、この登録申込書の期限は3カ月です。

骨髄移植推進財団 マンスリーレポート(2003/3/18)より 抜粋